

講演会

がん光免疫療法

光免疫療法の可能性に迫る講演会
日本発！がん治療に革命を起こす世界最先端の医療！

『光免疫療法』は、手術療法・化学療法・放射線療法・免疫療法に続く“第5のがん治療法”として注目を集める治療法で、オバマ元大統領からも称賛された注目の治療法です。2022年に日本に初めて設立された光免疫療法を中心に研究する研究所が枚方市にある関西医科大学にて開設されました。

今回は、がん光免疫療法の開発者である小林久隆氏にがんの撲滅を目指し、患者のために少しでも早く技術を届けようと一つの治療法を追求してきた執念と飽くなき探求心について、ご講演いただきます。

講師



関西医科大学 特別教授 光免疫医学研究所 所長
アメリカ国立衛生研究所 (NIH) / 国立がん研究所 (NCI) 主任研究員

小林久隆 氏

令和 6年 3/15 金 14:00～16:00

会場：枚方市総合文化芸術センター 関西医大小ホール
定員：200名（入場無料）

お申込みはこちら



主催 | 北大阪商工会議所

サービス業部会・理財業部会・商業部会

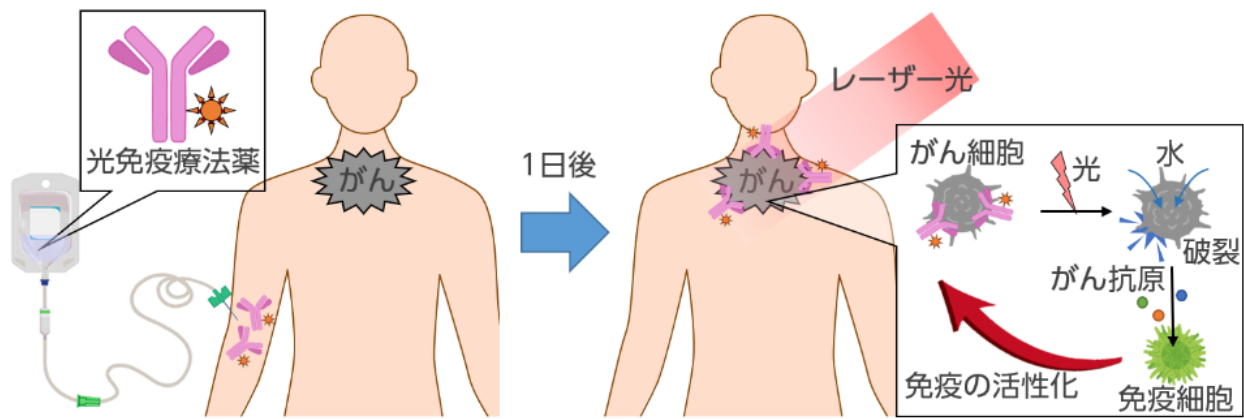
工業部会・諸業部会・北大阪工業クラブ

本件担当 | 北大阪商工会議所 事務局

TEL : 072-843-5154

E-mail : s_omachi@kocci.or.jp

がん光免疫療法について



① 光に反応する薬剤（光免疫療法薬）を点滴により投与

② 1日程度で薬ががん結合 → レーザー光を照射

③ がん細胞から放出された物質（がん抗原）により、がんに対する免疫の活性化

（出典）関西医科大学附属光免疫医学研究所ホームページ

光免疫療法は、光に反応する薬を投与し、薬ががん十分に集まったところでがんに対してレーザー光をあてることで治療する、新しいがん治療法です。日本においては、「切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌」に対する治療として2020年9月に承認され、現在は保険診療として治療を受けることが可能です。光免疫療法用の薬は、がん細胞の表面に多く出ている目印（抗原）にくっつくタンパク質（抗体）に、光に反応する物質をつけたものです。この薬を点滴投与すると徐々にがん集まっていき、1日くらいでがん細胞に薬がたくさんくっつきます。そこにレーザー光を当てると薬が反応し、薬がたくさんくっついたがん細胞は破裂して死滅します。一方で、光免疫療法用の薬がほとんどくっつかない正常細胞は、レーザー光を当ててもダメージを受けません。また光免疫療法用の薬自体は細胞にダメージを与えませんし、使用するレーザー光も人体に害は及ぼさないため、抗がん剤のような治療部位以外での副作用はなく、患者にやさしいがん治療法といえます。

お申込み・お問い合わせ

■ お申込みフォームから

北大阪商工会議所HPよりお申込みください。

<https://kocci.or.jp/>

<定員>先着順200名 ※申込期限 令和6年3月8日(金)

こちらからもお申込み
いただけます。



■ 会場

枚方市総合文化芸術センター本館 関西医大小ホール

【公共交通機関をご利用の場合】

京阪電鉄 枚方市駅から徒歩7分

【お車をご利用の場合】

有料駐車場はありますが、台数に限りがあるため公共交通機関のご利用をおすすめいたします



■ お問い合わせ先

北大阪商工会議所 事務局

枚方市車塚1丁目1番1号(輝きプラザきらら内) TEL 072-843-5154

お申込み情報は、北大阪商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用する他、参加者の実態調査・分析のため利用いたします。

<注意事項>講演中の写真や動画撮影、録音などはお控えください。